

## 中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	認定特定非営利活動法人 まち・コミュニケーション	代表者名	代表理事 宮定 章
事業名	<p>&lt;基本事業&gt; 小規模ボランティア団体や NPO 団体への運営・活動への相談支援事業 －現場伴走型中間支援 認定 NPO 法人が寄り添う－</p> <p>&lt;企画立案事業&gt; 次なる災害へ向けて、勉強会から“NPO 組織の力を活かすプラットフォームづくり”へ展開 ～役立つ知識を持つことで、団体間をゆるやかに繋ぎ相談相手を増やす～</p>		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
随時	相談業務 102 件： 組織運営・継続性（NPO 法人化含む）、外部者である NPO が地域づくりに関わる時の方法論の相談、地域づくりに関わる時のポイント、ボランティアの集め方等について
2019 年 9 月 11 日	東日本大震災から学ぶ、これからの災害への備え ～阪神・淡路大震災から 25 年 防災と復興を学ぶ～ 阿部晃成氏（東北大学 課外・ボランティア活動支援センター、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士課程）
11 月 16 日	東日本大震災の被災地 福島に住まいの今、住まいの再建と復興まちづくりを学ぶ 太田亘氏（UR 都市機構 福島震災復興支援本部 福島支援部 建築計画課長）、 小野寺憲一氏（気仙沼市震災復興・企画部部長）
2020 年 1 月 17 日	① 大震災 25 年 共助と協働のこれから 講師：室崎益輝氏（兵庫県立大学減災復興政策研究科科長） ② 被災者の尊厳を守る お金の話～震災当時の神戸支店長として～ 講師：遠藤勝裕氏（元日本銀行神戸支店長） 講師：瀬尾征男氏（元・東京海上火災神戸支店長）
2 月 9 日	① 「災害ケースマネジメント」 津久井進氏（弁護士・日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長） ① 「復興まちづくり支援の 思想とプランニング」 野崎隆一氏（神戸まちづくり研究所理事長）

### <効果と成果>

阪神・淡路大震災を契機に設立して 24 年間、東日本大震災や熊本地震を含め地域支援をしてきた中で出会った多くの人材やネットワークをフル活用して、新たな人材の発掘とプラットフォームづくりを目指してきた。今年度は、阪神・淡路大震災の発生から 25 年目であり、改めて振り返ることで、防災力を高め伝える人材を育てる機会となった。

今年度、特に注力したのはインターネットによる動画配信である。これにより勉強会に来場できない人も、動画を通じて学べるようになった。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	1,312,059
合 計	1,812,059

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費	1,147,800	189,775
	旅費交通費	48,016	48,016
	郵送費	214,176	214,176
	消耗品	8,033	8,033
	小 計	1,418,025	460,000
間接経費 (一般管理費)		394,034	40,000
合 計		1,812,059	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費	118,500
自己資金	405,339
合 計	1,023,839

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費	944,811	420,972
	印刷費	45,617	45,617
	謝金	33,411	33,411
	小 計	1,023,839	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		1,023,839	500,000